

市内の路線バスの現状について（平成２９年度）

１．現状

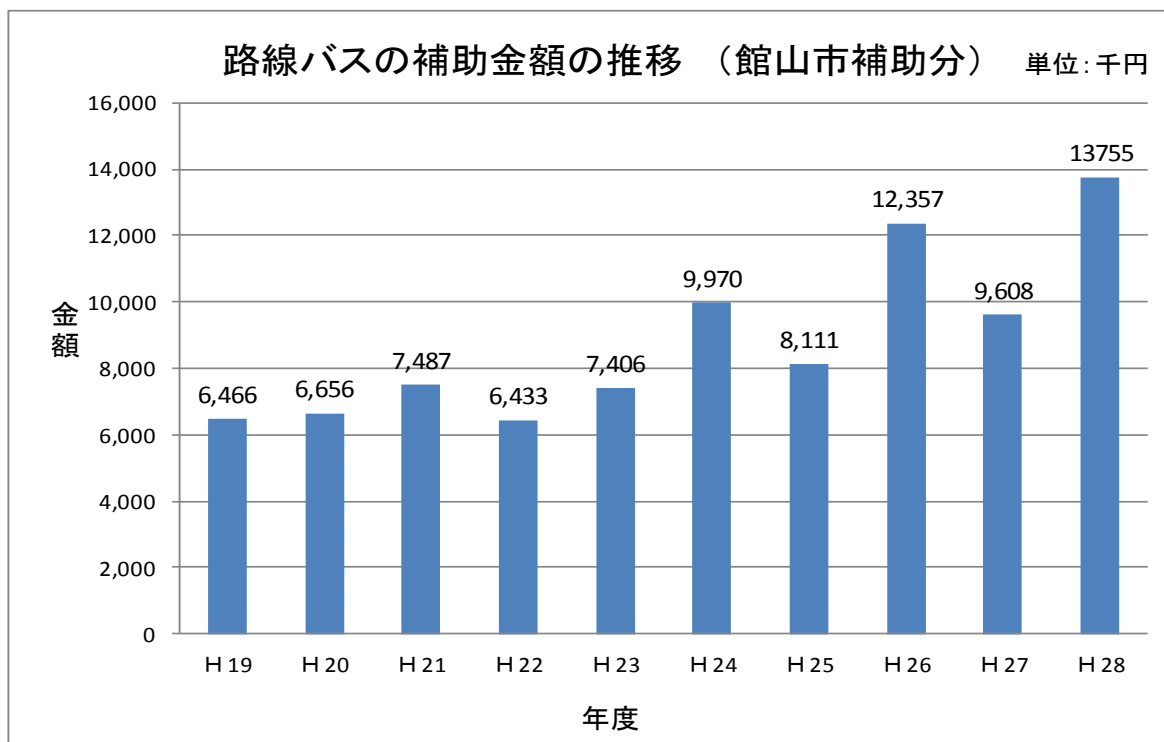
館山市内の路線バスは２事業者（館山日東バス(株)・ジェイアールバス関東(株)）で、８路線運行されている。館山駅を中心に、放射状にネットワークが広がっており、住民や来訪者等の移動手段として利用されてきたが、近年、自家用車の普及や少子高齢社会の影響を受け、路線バスの利用者は年々減少し、収支状況が悪化している路線に対しては、補助金を交付し路線の維持を図っている状況にある。

２．路線等一覧

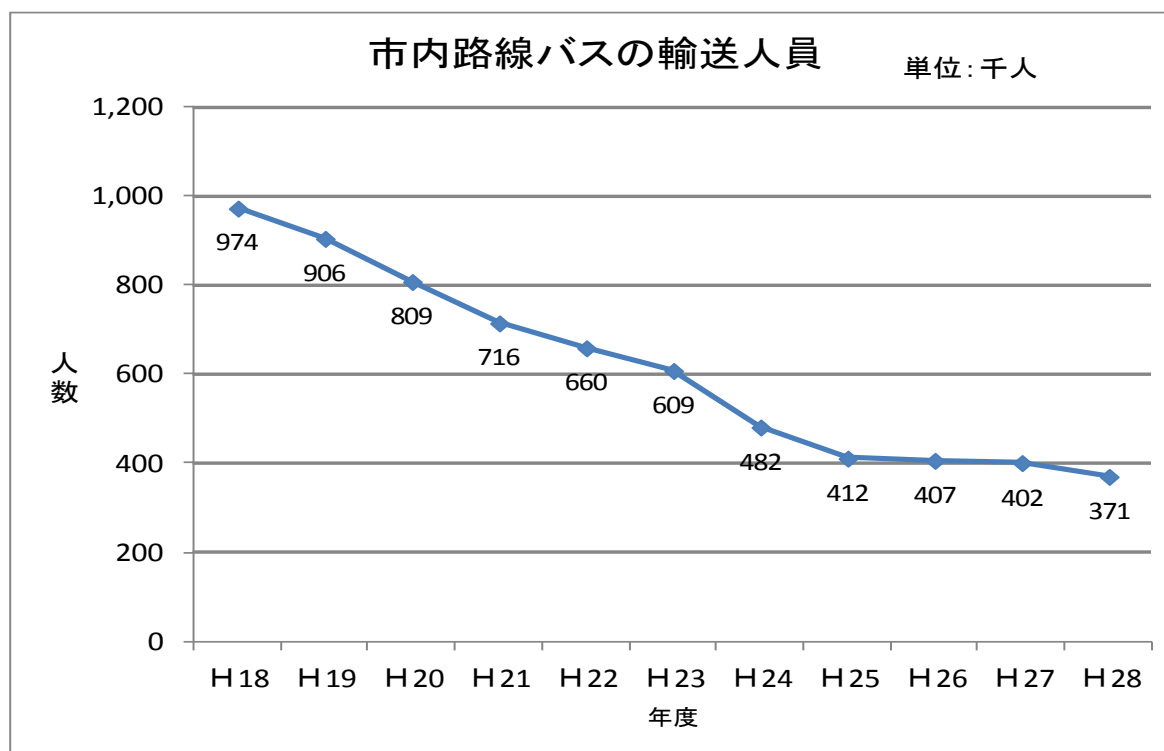
事業者	路線名	起点⇄終点（経由地）	公的支援	備 考
館山日東バス(株) （館山鴨川線の一部は鴨川日東バス(株)）	館山鴨川線	館山駅⇄亀田病院 （鴨川駅東口）	国県補助	
	千倉線	館山駅⇄平館車庫 （九重駅前）	市補助	H28～市補助
	市内線	館山航空隊⇄なむや<小浜> （館山駅前）	国県補助	
	豊房線	館山駅⇄安房白浜 （豊房）	市補助	
	丸線	館山駅⇄川谷<細田> （三芳病院前）	市補助	
	平群線	館山駅⇄平群車庫 （三芳病院前）	市補助	
ジェイアールバス関東(株)	南房州本線	館山駅⇄安房白浜 （安房神戸）	国県補助	
	洲の崎線	館山駅⇄南房パラダイス<安房白浜> （坂田・伊戸・安房自然村）	-----	

※「観光桟橋線」は現在休止

▼補助金額の推移（館山市補助分）

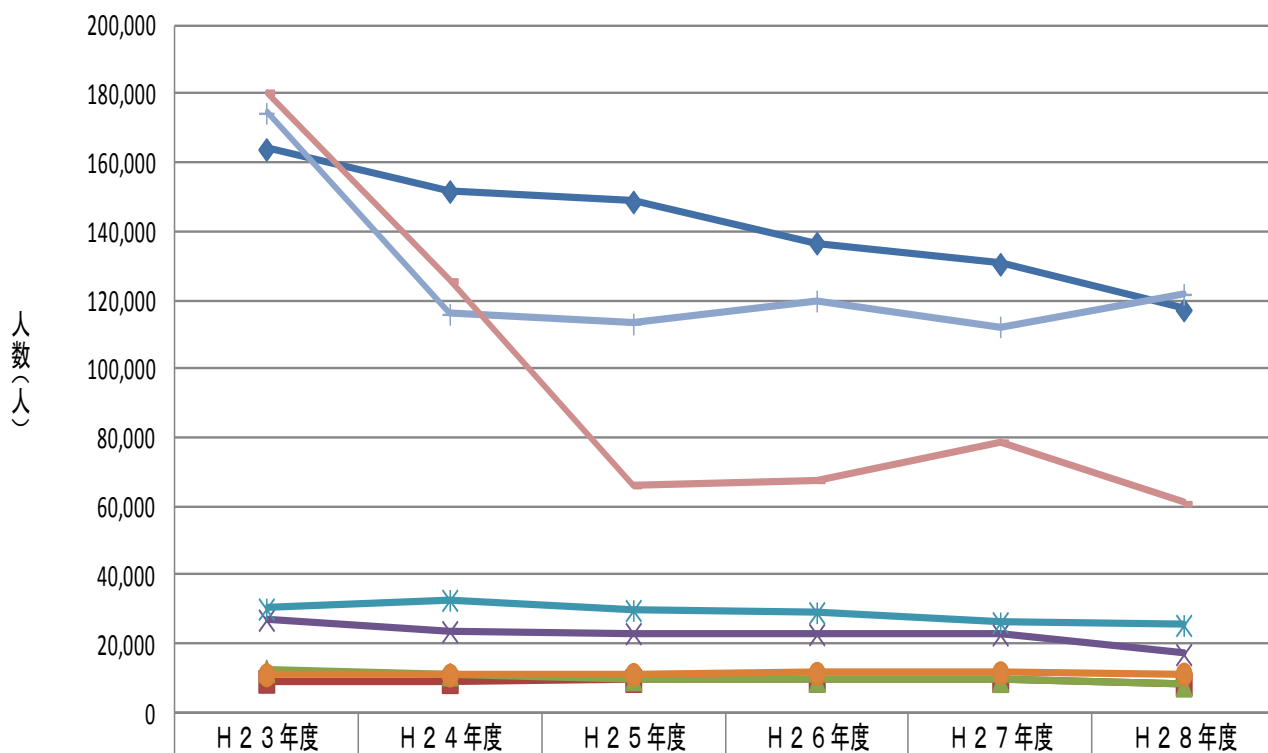


▼市内路線バスの輸送人員



▼市内路線バスの路線毎のバス輸送人員

市内路線バスの路線ごとのバス輸送人員



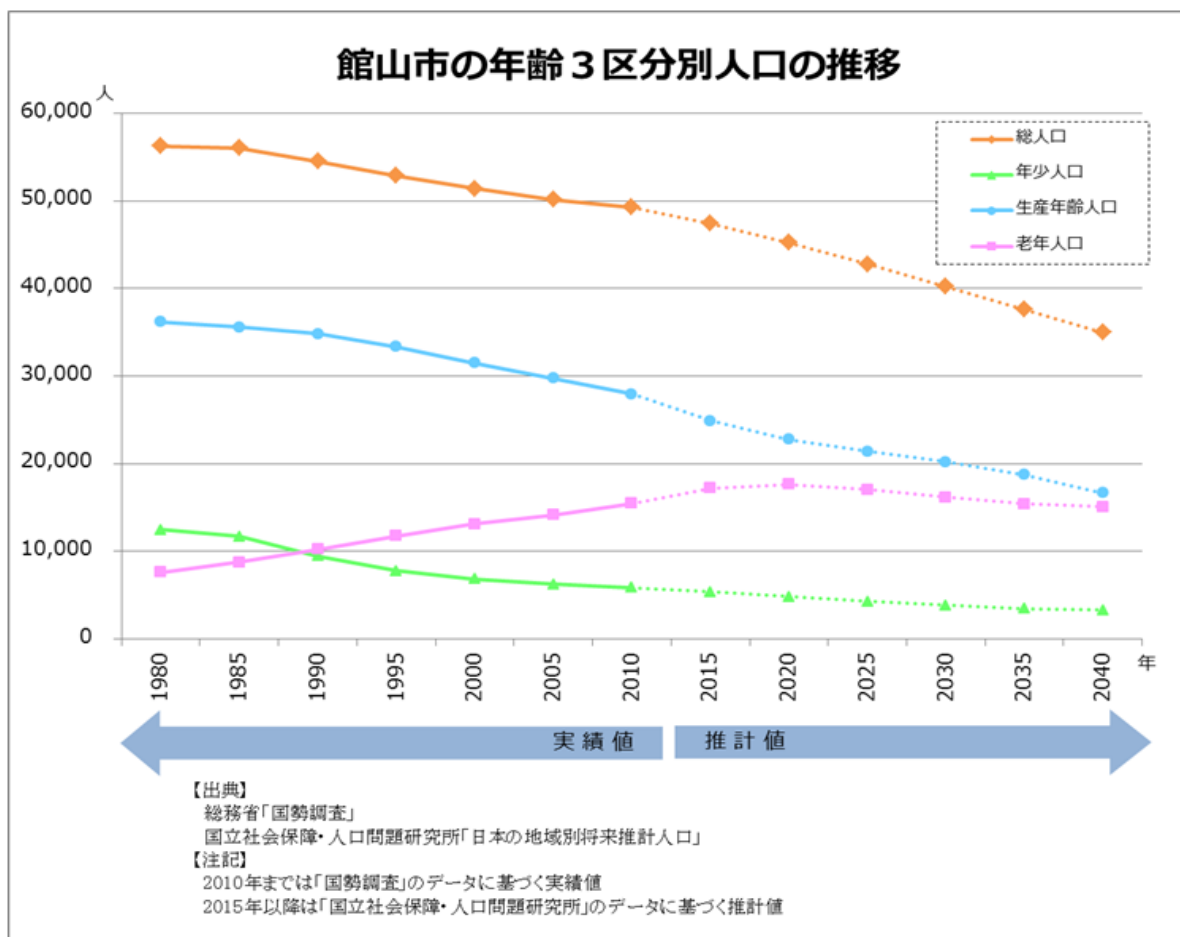
※千倉線は平成 27 年 10 月より 6 往復から 5 往復に減便。

※観光栈橋線は記載なし。

3. 館山市の人口

推計によると2015年以降の人口減少はさらに加速化し、2040年には、約35,000人まで減少。一方で、老年人口（65歳以上）の増加は2020年で頭打ちとなり、その後は緩やかに減少に転じるものと予想される。

高齢化率の上昇により、路線バスの重要度は、今後、益々高まる一方で、本格的な人口減少時代の到来により、移動手段として欠くことのできない路線バスを持続可能なものとしていくことが大きな課題である。



※H27.10「館山市まち・ひと・しごと創生 総合戦略」より

4. バス事業者による運転免許返納者への優遇制度

バス事業者により、65歳以上で運転免許証を自主返納した方を対象に、優遇措置が実施されている。

【実施主体等】

実施主体：日東交通グループ・ジェイアールバス関東(株)館山支店

路線バス乗車運賃を半額

平成23年7月から実施

『ノーカー・サポート優待証』の提示が必要

※他の事業者が実施しているサービス

- ・タクシー運行事業者（館山署管内の8タクシー会社）
65歳以上の返納者・運賃の1割引き・運転経歴証明書の提示

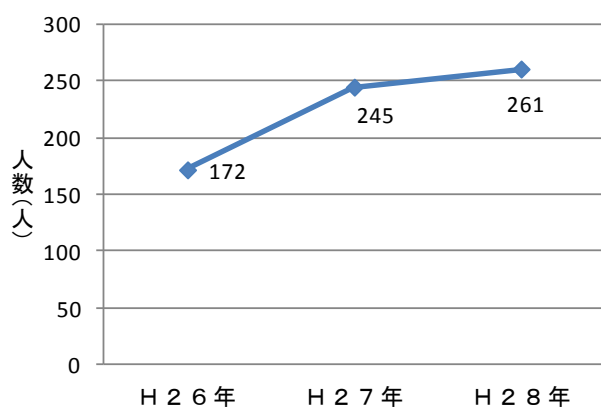
- ・館山市

75歳以上の返納者

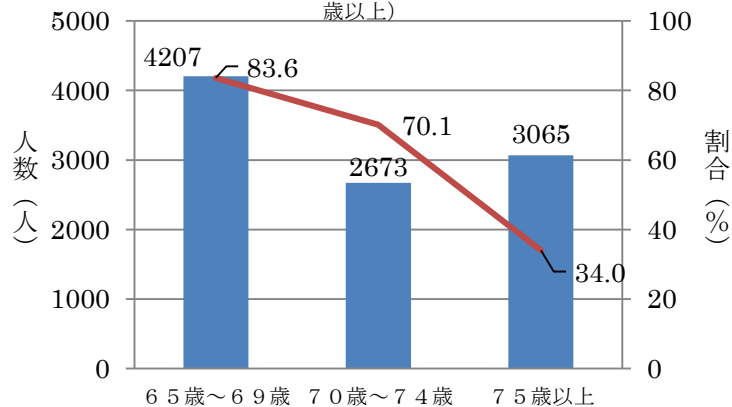
バス回数券・タクシー利用助成券・市内共通商品券

（いずれも5,000円相当・1回限り）

館山署管内の免許返納件数の推移



市内の運転免許保有者数・当該年代人口に占める割合（65歳以上）



5. 高速バスの状況

館山市内からの高速バスは5事業者（館山日東バス(株)・日東交通(株)・千葉シティバス・ジェイアールバス関東・横浜京急バス）で、4路線（東京行・新宿行・千葉行・横浜行）が運行されている。市内路線バス・鉄道・タクシーの輸送人員が年々減少傾向であるのとは逆に増加傾向にある。

